

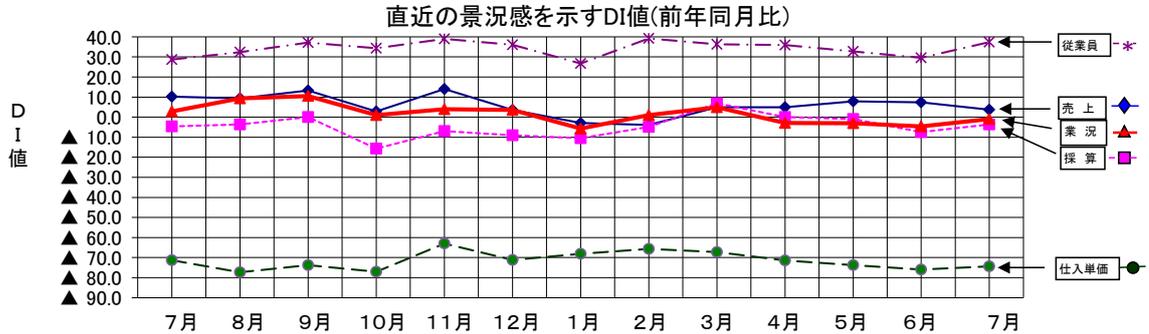
早期景気観測調査 新潟商工会議所管内 7月分

【7月の概要】

**「売上」「従業員」は直近、先行き見通しともに悪化傾向へ
依然各業界で人手不足を課題に挙げる事業者が多い**

直近の景況感を示すDI値は、「採算」「業況」が3.7ポイント、「仕入単価」が1.6ポイント改善した。一方、「売上」が3.7ポイント、「従業員」が7.8ポイント悪化。先行き見通しを示すDI値は、「仕入単価」が5.1ポイントの改善を示したが、その他の4指標で悪化を示している。

コメントでは、人手不足、採用難、人件費高騰、原材料高騰に苦しむ声が非常に多く寄せられた。なかでも人手不足は企業の事業活動の制限条件となっており、依然として厳しい状況が続く。



【直近の景況感を示すDI】 ※DI(景況判断指数)=(良い割合)-(悪い割合) ※従業員=(不足)-(過剰)
(Diffusion Index の略)

	2023年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	2024年 7月
売上	10.2	9.3	13.3	2.9	14.0	3.6	2.9	3.9	4.9	4.9	7.9	7.4	3.7
採算	▲ 4.6	▲ 3.7	▲ 0.0	▲ 15.7	▲ 7.0	▲ 9.0	▲ 10.5	▲ 4.9	6.9	0.0	▲ 1.0	▲ 7.4	▲ 3.7
業況	2.8	9.3	10.5	1.0	4.0	3.6	5.7	1.0	4.9	▲ 2.9	▲ 3.0	▲ 4.6	▲ 0.9
仕入単価	▲ 71.3	▲ 77.3	▲ 73.8	▲ 77.0	▲ 63.0	▲ 71.2	▲ 68.1	▲ 65.7	▲ 67.2	▲ 71.4	▲ 73.8	▲ 75.9	▲ 74.3
従業員	28.7	32.4	37.1	34.3	39.0	36.0	26.7	39.2	36.3	35.9	32.7	29.6	37.4

- ・マイナス幅が減少したDI値：採算3.7ポイント、業況3.7ポイント、仕入単価1.6ポイント
- ・プラス幅が増加したDI値：従業員7.8ポイント（人手不足局面へ）
- ・プラス幅が減少したDI値：売上▲3.7ポイント

【向こう3か月間の先行き見通しを示すDI】

	売上(受注・出荷)	採算	業況	仕入単価	従業員
5月	11.9	0.0	4.0	▲ 55.5	35.6
6月	9.3	▲ 2.8	3.7	▲ 57.4	34.3
7月	1.9	▲ 12.2	▲ 2.8	▲ 52.3	37.4

- ・見通しが改善したDI値：仕入単価5.1ポイント
- ・見通しが悪化したDI値：売上▲7.4ポイント、採算▲9.4ポイント、業況▲6.5ポイント、従業員3.1ポイント（人手不足局面へ）

【業界から寄せられた主なコメント】

建設業	土木建築事	原材料高騰、人手不足により経営が苦しい。賃金を上げたいがなかなか厳しく人流が心配。
	管工事業	人員不足による人件費の高騰、特に新卒・中途採用にかかる費用が増大。
製造業	印刷	次々と物価が高騰する現状に価格転嫁もままならない零細企業にとって頭の痛いことばかり。
	板金・溶接	高卒の求人説明会に申し込んでもことごとく落とされる。小さなところはチャンスももらえないのか。
卸売業	青果	定額減税を受け消費の拡大を期待するが、円安の影響から輸入品は値が高い。
小売業	印刷・印鑑・雑貨	消費が冷え込んでいる。経済対策が必要ではないかと思う。
サービス業	警備	仕入価格や人件費の上昇、人材不足により業容拡大が困難であり、利益を圧迫。厳しい経営環境となっている。
	タクシー	1人当たりの売上は伸びているが、高齢者の退職など、人手不足により企業全体の売上は減少している。
	運輸	ドライバー不足が解消せずこれからの繁忙期が心配。新卒採用にも苦慮している。
ホテル	ホテル	催事イベント等がコロナ以前並みに回帰したことで宿泊需要は見込めるが、人員不足もあり飲食系は未だに低調傾向から脱していない。□